



日本製薬医学会ニュース No. 28 2018年 7月

～「JAPhMedニュース 7月号」～

JAPhMed Mail News No.28 - 2018 July -

■ Headline =====

1. 巻頭言：学会理事長 岩本 和也
2. 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM) ・ 第9回日本製薬医学会年次大会
(会期：2018年9月27日(木)～29日(土)) Update
19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM) 大会長 今村 恭子
第9回日本製薬医学会年次大会 大会長 西馬 信一
3. 関連イベントのご案内
 - ・ 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会 合同シンポジウム
最適使用推進ガイドラインも関連付けた「本邦における医療技術評価 (HTA) の最新動向」
 - ・ MS(Medical Safety)部会 (7/31) : 会員の方は無料
「疾患登録システムや医療情報データベース等のリアルワールドデータの薬事制度下での利活用とその国際規制調和に向けた調査、課題整理に関する研究」
4. 事務局の変更のご案内

1. 巻頭言：学会理事長 岩本 和也

前号では梅雨入りに触れましたが、関東甲信に加えて本日(7月9日)に、九州北部から東海、北陸にかけて梅雨明けしたようです。ただ、今月の6日から8日にかけて西日本豪雨が発生し、西日本各地で多くの犠牲者が出ました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々のご家族に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、5月、6月に、第1回および第2回の医療ビッグデータセミナー、6月に臨床研究法対応の契約サンプルに関するセミナーを開催いたしました。おかげさまで大盛況となりました。あらためて感謝申し上げます。7月31日には、リアルワールドデータに関するMS部会主催のイベントも予定しております。梅雨明け後、盛夏となり、秋の音が聞こえてから間もなくすると9月27日からのICPM・当学会年次大会となります。

今後ともご支援賜りますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。

Greetings from Chairperson Kazuya Iwamoto

In the previous issue, I touched upon beginning of rainy season and it seems the rainy season has been over in the west part of Japan and greater Tokyo area. Unfortunately, heaviest rain hit wide areas of western Japan from 6th to 8th of July. My deepest compassion goes to all those who suffered.

We held medical big data seminars in May and June, and Seminar on agreement sample for clinical trial law in June. Thanks to your support, these seminars were really successful. On 31st of July, we will hold a seminar on Real World Data. After the end of rainy season, hot summer will begin. And after the end of summer and fall begins, there will be ICPM (International Conference on Pharmaceutical Medicine) /annual meeting of JAPhMed starting from September 27th.

Again, we really appreciate your continuous support.

2. 19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM) ・ 第9回日本製薬医学会年次大会 (会期：2018年9月27日(木)～29日(土)) 準備状況：

19th International Conference on Pharmaceutical Medicine (ICPM) 大会長 今村 恭子
第9回日本製薬医学会年次大会 大会長 西馬 信一

会期：2018年9月27日(木)～29日(土)

会場：東京大学伊藤国際学術研究センター (9月27・28日：同時通訳)

東京大学医・教育研究棟 鉄門記念講堂 (9月29日：日本語のみ)

大会長：ICPM;今村恭子 (東京大学大学院薬学系研究科ファーマコビジネス・イノベーション)

JAPhMed;西馬信一 (日本イーライリリー株式会社)

大会テーマ：The future of Medicines Development (医薬品開発の未来)

Web： <http://www.icpm2018tokyo.com/>

- * 8月20日まで早期割引実施中です。
- * 登録はJAPhMed ホームページ TOP のバナーまたはリンクより「ICPM2018のHP」→「(左メニューにある) Registration」からご登録ください。
- * 参加費にはICPM およびJAPhMed の大会の参加料が含まれます。(なお、9月29日の日本製薬医学会のみのお申し込みは受け付けておりません)
- * 当日参加は可能ですが、全日の参加費となります。
- * カード決済の他、銀行振り込みも可能です。下記の画面の赤枠より登録が可能になります。

The image shows a screenshot of the conference website. On the left is a navigation menu with the following items: HOME, Welcome Message, Meeting Overview, Organization, Registration (highlighted with a red box), Accommodation, Program, Information for participants / Presentation guideline, For Sponsors, Link, and Contacts. The main content area features a night cityscape background with the Tokyo Tower. A 'Main Theme' box contains the text 'The Future of Medicines Development'. Below this, the date is listed as 'September 27(Thu) – 28(Fri), 2018 (ICPM & JAPhMed)' and 'September 29(Sat), 2018 (JAPhMed)'. The venue is 'Ito International Research Center, Tetsumon Memorial Hall, University of Tokyo'. At the bottom, there are logos for IFAPP (International Federation of Associations of Pharmaceutical Medicine) and JAPhMed (Japanese Association of Pharmaceutical Medicine). The IFAPP logo is accompanied by the text '19th International Conference on Pharmaceutical Medicine' and the JAPhMed logo is accompanied by '9th Annual Congress of the Japanese Association of Pharmaceutical Medicine'.

3. 関連イベントのご案内

■ 第16回日本臨床腫瘍学会学術集会 合同シンポジウム

7月19日から神戸市にて開催されます第16回日本臨床腫瘍学会にて、日本製薬医学会は臨床腫瘍学会とともに合同シンポジウムを開催いたします。ご関心のある方はぜひご参加ください。

<http://www.congre.co.jp/jsmo2018/index.html>

合同シンポジウム5：最適使用推進ガイドラインも関連付けた「本邦における医療技術評価（HTA）の最新動向」

日程：7月21日（土）午前8時30分～10時30分

司会：増田 智先（九州大学病院薬剤部）

芹生 卓（大塚製薬株式会社）

演者：

福田 敬（国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部）

後藤 悌（国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科）

鎌江伊三夫（東京大学公共政策大学院 医療政策・技術評価）

山口 修一（中外製薬株式会社 渉外調査部グローバルプライシング&HTA グループ）

■ MS(Medical Safety)部会（7/31）セミナー開催のお知らせ

この度、2018年7月31日（火）に、東京にて日本製薬医学会 Medical Safety 部会セミナーを開催致します。

講師に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 中村治雅先生、小居秀紀先生をお迎えし、「疾患登録システムや医療情報データベース等のリアルワールドデータの薬事制度下での利活用とその国際規制調和に向けた調査、課題整理に関する研究」についてご講演いただきます。

近年、GCP刷新（ICH E8、E6の改訂）の動き、疾患登録情報を活用した臨床開発インフラの整備、医療情報データベースの整備、その医薬品安全性監視活動への利用と課題（収集する臨床情報、臨床データの質、信頼性）などの議論が活発になっており、リアルワールドデータの薬事制度下での利活用とその国際規制調和には大きな関心が集まっています。

本研究は2018年にAMED研究として採択され、中村治雅先生が研究開発代表者を務め、小居秀紀先生が研究開発分担者としてリードをされています。

今回、日本製薬医学会が本研究に協力することになりました。つきましては、中村先生、小居先生より本研究の概要についてご講演いただき、本研究の意義や学会に対する期待などをお話していただく予定です。

質疑応答の時間も十分にとる予定にしています。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。なお、オンラインでの聴講も可能となっておりますので、ふるってご参加ください。

本会にご参加の方は、国際製薬医学会（ICPM2018）に事前参加料金で参加できます。詳しくはWebをご参照ください。（なお、本セミナーにお申し込みを頂いた方のみ事前参加料金でのお申し込みが可能となります）

演題：「疾患登録システムや医療情報データベース等のリアルワールドデータの薬事制度下での利活用とその国際規制調和に向けた調査、課題整理に関する研究」

講師：中村治雅先生、小居秀紀先生（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター）

